

地域のまちづくりに貢献する企業をご紹介します。

2023

さっぽろまちづくり スマイル企業活動レポート

お問い合わせ先

札幌市市民文化局市民自治推進室 市民活動促進担当課 CSR 担当係

【TEL】011-211-2964 【E-mail】csr_info@city.sapporo.jp

【HP】<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/csr/smile/>



各区の地域コミュニティに関する取組については

各区地域振興課またはまちづくりセンターへお問い合わせください。

各区役所 地域振興課

- 中央区 TEL/205-3221 ●北区 TEL/757-2407 ●東区 TEL/741-2429 ●白石区 TEL/861-2422
- 厚別区 TEL/895-2442 ●豊平区 TEL/822-2427 ●清田区 TEL/889-2024 ●南区 TEL/582-4723
- 西区 TEL/641-6926 ●手稲区 TEL/681-2445

マチトモNavi <https://www3.city.sapporo.jp/shimin/shinko/>

※「マチトモNavi」から地域等を検索すると該当地域の「まちづくりセンター」が表示されます。



さっぽろ市
01-D02-23-2711
R5-1-196

発行 / 2024年3月



札幌市市民文化局
市民自治推進室 市民活動促進担当課

はじめに 01

さっぽろまちづくり
スマイル企業とは? 01

こんな企業が対象になります
こんな活動が対象になります 02

認定企業紹介

株式会社あいプラン 03

花王グループカスタマーマーケティング
株式会社 北海道支社 05

株式会社アミノアップ 07

登録～認定・表彰までの流れ 09

よくある質問 10

ゴールド企業紹介

札幌ヤクルト販売株式会社 11

シルバー企業紹介

日本緑化工株式会社 13

市民文化局長表彰

橋本電気工事株式会社 15

札幌日信電子株式会社 16

株式会社四宮造園 17

北海道道路産業株式会社 18

これまでの表彰企業 19

認定企業一覧 21

はじめに

近年、少子高齢化や核家族化など社会情勢が大きく変化
する中で、札幌市の人口は減少に転じており、今後は人口
構造の変化も見込まれています。こうした時代を迎えるに
あたり、誰もが安心して暮らしていけるまちを実現するた
めには、企業のみなさまによる地域に根差した積極的なま
ちづくり活動が期待されています。

札幌市では、こうした取組を支援するため、地域に根差
したまちづくり活動に積極的に取り組む企業を「さっぽろ
まちづくりスマイル企業」(以下、「スマイル企業」)として認
定する「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」を令和
元年7月から実施しています。

スマイル企業の活動を広く知っていただくことで、地域
のみなさまとのつながりが深まるとともに、より多くの企業
の方々が地域の一員として、まちづくり活動へ参加するき
っかけとなれば幸いです。

さっぽろまちづくり スマイル企業とは?

札幌市のまちづくり活動に 積極的に取り組む企業を認定します!!

札幌市では、一年度間に一定基準の地域のまちづくり活
動にご協力いただいている企業を「さっぽろまち
づくりスマイル企業」として認定しています(認定基準等
の制度の概要はP.2、P.9、P.10参照)。

本制度により、スマイル企業
として認定されると、認定企業
のまちづくり活動を札幌市公
式ホームページで周知するほ
か、認定証や企業のPRに利用
可能な認定マークの付与、活動
実績に応じた各種表彰を行っ
ています。



認定マーク

まずは、地域と顔の見える関係づくりから始めませんか?

こんな企業が対象になります ▶ 以下の条件を満たす企業又は事業所が対象です。

- 01 営利を目的とした企業又は当該企業を構成員とする営利を目的とした任意団体、協同組合
- 02 札幌市内に所在する企業又は事業所(本社が札幌市になくても可)
※本社(支社)もしくは事業所単位のどちらかでお申込みください(両方の申込みはできません)
- 03 札幌市内で継続して1年以上の事業の実績があること
- 04 市税、法人税並びに消費税及び地方消費税を滞納していないこと



次に該当する企業又は事業者は、登録の対象となりません

- 法令などに抵触する恐れのあるもの。 ●公序良俗に反する恐れのあるもの。 ●政治性、宗教性があるもの。
- 民事再生法及び会社更生法による再生または更正の手続き中のもの。
- 事業に関して法令に違反し、国又は地方公共団体から行政処分を受け、当該処分が解除されていない企業。
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条2号に規定する暴力団又は札幌市暴力団の排除の推進に関する条例(平成25年条例第6号)第7条第1項に規定する暴力団関係事業者。
- 本市が登録しないことが適切と認めるもの。

こんな活動が対象になります ▶ 営利を主目的としない公益活動・社会貢献活動のうち、地域のまちづくりに関する活動が対象です。

- 01 札幌市が実施する制度や取組、イベントへの連携・協力・寄付・協賛
- 02 町内会や地域の実行委員会、札幌市が中心となっている組織委員会等が実施する取組やイベントへの連携・協力・寄付・協賛
- 03 上記1.2以外の企業が独自に取り組む活動については、営利と関係せず地域に直接貢献したと社会的に認められる活動
(札幌市内で行われ、札幌市民の参加・利用実績がある活動が対象です)



項目	活動例
①地域コミュニティ	地域コミュニティや地域のまちづくり活動への積極参加やイベント等への寄付・協賛、地域活動を行う場の提供、福祉除雪等の除雪ボランティア等
②防犯・防災・安全	防犯活動、消費者トラブルの未然防止に関する活動、交通安全運動、冬の砂まき・消火栓除雪、消防や防災に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
③環境	ごみ拾い、植花・維持管理、エコ活動、環境に関するイベント等への協力・寄付・協賛等
④子ども・子育て	子育て支援に関する活動、職場体験受入、学校へ講師派遣、虐待防止に関する活動、子ども・子育てに関するイベント等への協力・寄付・協賛等
⑤健康・福祉	高齢者や障がい者に関する見守りや社会福祉に関する活動、健康増進・食育に関する取組、これらの分野にかかるイベントやセミナーへの協力・寄付・協賛等
⑥産業・文化・活力	スポーツ・文化の振興、シティプロモート、産業振興に関する活動、ワークライフバランスや男女共同参画等に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
⑦広報協力	パンフレット配架やポスター掲示等の広報協力
⑧その他	①～⑦以外に地域に貢献したと社会的に認められる社会貢献活動

具体的な活動例についてはさっぽろまちづくりスマイル企業認定制度のホームページをご覧ください。

★札幌市が実施する制度や取組のうち、助成金の交付や企業の採用に関する取組など、企業の本来的な活動を支援するための制度・取組への連携・協力は、本制度で認定する活動の対象外です。



冠婚葬祭
あいプラン
株式会社あいプラン

住所 札幌市中央区南2条西8丁目12-1
業種 冠婚葬祭に関わる総合サービス業
従業員数 1,100名
設立 昭和38年2月
認定 2023年5月
URL <https://www.apg-aiplan.com>

人生のかけがえのない
ひとときを預かる会社として

これからも地域の方々に
寄り添っていきたくと考えています



渉外営業室
シニアマネージャー 大塚 周雄さん

株式会社あいプランは昭和38年に札幌市で創業した冠婚葬祭互助会で、北海道における冠婚葬祭のプロフェッショナルとしてお客様のお手伝いをしています。地元で恩返しをしたいという思いから、札幌市内全区にある施設は地域のイベントの会場としても提供しています。介護予防教室や地域サロン、マルシェなどのさまざまな交流の場としてご活用いただいています。

今後も多様化するニーズに応えながら、人と人とのつながりを大切に、より良い社会づくりに貢献できるよう、地域の方々に寄り添った取組を進めます。



温かみのある「やわらぎ齋場 センティア28」

地域に密着した施設だからこそできるお手伝いを

2022年からこれまで、西岡霊廟の利用者に供物の寄付を呼びかけ、集まった供物をNPO法人フードバンクイコロさっぽろへ寄贈しました。想いのこもった供物を無駄にすることなく、社会福祉施設やこども食堂などで活用いただく取組です。

また、コロナ禍では活動の場が制限されていた方々に、「やわらぎ齋場厚別西」を会場として提供し、ワークショップやハンドメイド作品などを楽しむイベント「つながりマルシェ」の開催に協力するなど、地域に開かれた活動にも取り組みました。同イベントは今後もさまざまな齋場を会場として開催される予定です。来場者はもちろん出店者同士の笑い声が響くような温かい雰囲気が魅力です。



フードバンクイコロさっぽろによる食品配布会に会場を提供

2021年10月・12月、2022年6月には「マチ福ミーティング」という福祉をテーマにしたイベントの開催に協力しました。特に2021年12月開催分では共催として準備委員会から当日運営にいたるまで総合的に関わりました。福祉の世界と関わりが少ない方でも立ち寄れるよう工夫し、楽しむうちに福祉との距離が近くなっていくようなイベントとなりました。

2023年から新たに開催された「あえりあマルシェ」は、障がいがある方も気軽に足を運べるイベントとしてNPO法人あえりあが主催しました。キッチンカーや菓子店、雑貨店などが出店し、あいプランでは「やわらぎ齋場新琴似」を会場として提供しました。赤ちゃんや障がいがある方向けにおむつ替えや着替えスペース、福祉車両用の駐車場も多数用意し、来場者からも好評でした。



多くの来場者で賑わう「あえりあマルシェ」



世代を問わず気軽に交流できる場所に

新しいコミュニティスペースのかたち「まちライブラリー」

「まちライブラリー」とはメッセージをつけた本を中心としたコミュニティで、一般社団法人まちライブラリーの呼びかけのもと全国各地のオフィスやカフェ、お寺などさまざまな場所で展開されている活動です。

2023年4月、「やわらぎ齋場厚別西」でもまちライブラリー「いのちのきらめきライブラリー」がオープンし、週2~4回ほど開館しています。本をきっかけに世代を問わず交流が楽しめる場として、イベントや企画も実施。和室もあるため、小さなお子さん連れでも安心です。

「いのちのきらめきライブラリー」は、誰でも気軽に立ち寄ることのできるコミュニティスペースとして、地域の方々が信頼関係を築きながら人生の悩みを相談し合えるような場が、もっとまちに増えていくことを願って始めました。このような場所が少しずつ地域に溶け込み、活動の輪が広がっていくことを期待しています。



世代間交流の場「いのちのきらめきライブラリー」

持続可能な “こころ豊かな暮らし”を 目指して

Kao



Kao
きれいをこころに未来に

花王グループ カスタマーマーケティング 株式会社 北海道支社

住所 札幌市中央区北2条西3丁目1-20
札幌フコク生命越山ビル11階
業種 卸売業
従業員数 492名 設立 平成27年10月
認定 2023年4月
URL <https://www.kao.com/jp/>



社会コミュニケーション部門 北海道地区 部長 金子 修さん
社会コミュニケーション部門 北海道地区 マネージャー 楠本 恭子さん

さまざまな講座を通じて
衛生・美容・健康に関する
情報を届けたい

花王グループは“こころ豊かな暮らし”と“思いやりのある社会”を実現するための取組を推進しています。長年培ってきた知見や情報をもとに、衛生や美容、健康、環境に関する講座やイベントを開催し、社会貢献活動を進めています。

講座では自社商品の紹介だけでなく、日々の生活に役立てていただけるような内容を伝えています。例えば、シニア層に向けた「血めぐり改善と睡眠習慣」講座や幼稚園児などに向けた「はみがき」講座のように、年齢やニーズに合わせたさまざまな講座を実施しています。



「血めぐり改善と睡眠習慣」講座の様子

個人や社会の“キレイ”のために花王の知見を提供したい

人気のある「はみがき」講座は、幼稚園・保育園児とその保護者に向けたプログラムです。おやつを食べるタイミングや歯ブラシの選び方、仕上げ磨きの重要性などを伝えながら、歯磨きの習慣付けを目指します。“改めて勉強になった”“楽しかった”という声が多く、年齢に合わせて内容をアレンジしています。

また、小学生向けの「プラスチックごみ削減」や中学生・高校生向けの「環境を考えるフェアトレード」など環境をテーマとした講座もあります。ほぼ全ての講座を担当する楠本さんは「どうすればごみを削減できるか、グループワークを行います。エコバッグやマイボトルを持っている子どもも多く、子どもたちの意識の高さに驚きます」と話しました。



「はみがき」講座は小学校低学年向けにも実施しています

高校生や専門学校生、大学生を対象とする「身だしなみ講座」は就職活動を行う学生を応援する講座です。基本的なスキンケアや相手に好印象を与えるメイク、ヘアスタイリングなどを実践的に学びます。楠本さんは「男子学生用のコンテンツもあります。手の方向や鏡の位置など基本を知ること、自分でもやってみようと思ってほしい」と笑顔を見せます。

一般の方に向けた「メイク講座」は、外出する機会が減りがちなシニア世代に特におすすめしています。メイクすることで、明るい気分で近所のお散歩を楽しんだりお友達と食事に出かけるきっかけになったりと、フレイル予防にもつながります。



「身だしなみ講座」を受講する男子学生



乳がん早期発見を呼びかける 「ピンクリボン」キャンペーン

“あなたと、あなたの大切な人のために”

「ピンクリボン活動」に賛同し、花王グループが一丸となって取り組んでいるピンクリボンキャンペーン。毎年10月1日から11月30日までをキャンペーン期間としています。“あなたと、あなたの大切な人のために”をスローガンに、乳がんのみならず自身の健康を考えるきっかけとなることを願って、幅広い活動を展開しています。

2023年は、認定NPO法人「乳房健康研究会」監修のもとオリジナルのセルフチェックメソッドを考案し、浴室に貼って日々チェックできるシートを製作するなど、セルフチェックの習慣付けや定期的な検診の大切さを伝えています。

なかでもユニークな社内の取組が“フォトキャンペーン”。ピンク色のものと共に写真撮影した社員の人数に応じ、花王株式会社より高校生の乳がん啓発活動を行う団体へ寄付を行っています。「社員の想いが届く仕組みです」(金子さん)



金子さん(前列中央)のジャケットにはピンクリボンバッジ

※ピンクリボン活動…乳がんの早期発見の大切さを呼びかける世界的な活動

笑顔が未来に続く 社会の実現に向けて

The Power of Nature
AminoUp
株式会社アミノアップ

住所 札幌市清田区真栄363番地32
業種 製造業 従業員数 100名
設立 昭和59年6月
認定 2023年5月
URL <https://www.aminoup.jp/>



代表取締役社長 北館 健太郎さん
営業部 課長 関野 琴さん



社内横断的組織ESGチームでは活発な意見交換も



「自然の恵みで
世界の人々を笑顔に」が
私たちのミッションです

株式会社アミノアップは天然物由来の機能性素材を研究・開発・製造する会社です。限りある資源の活用を目的として、自由な発想と独自の技術で、持続可能な製品を生み出してきました。機能性食品を通じて人々の健康な暮らしに寄与すること、植物活力資材を通じて高品質・高栄養の農作物生育や地球緑化に寄与すること、それらにより豊かな社会づくりに貢献することを使命としています。

社内横断的組織としてESG※チームを発足し、重要課題の達成に向けた取組や発信について協議、実行する中で、ネイチャーツアーなど独自の地域貢献活動にも取り組んでいます。

※ESG…経営における3つの観点：環境（environment）、社会（social）、ガバナンス（governance）の3つの頭文字を組み合わせた略語

健康な社会づくりを目指して

「おしごとごっこフェス※」では、「アミノアップ研究室」を企画・開催しました。レモンやキウイなどを使ったビタミンCの測定実験を、小学校高学年の児童とその保護者が体験しました。「実験は当社社員が指導しました。身近な食べ物を使った実験はわかりやすく、参加者の皆さんから好評でした」（関野さん）

また、清田高校の授業の一環として、環境活動を起点とした地域活性化に向けた取組について生徒から取材を受けました。取材後には、生徒が取材内容をもとにプレゼンテーションを行い、取材時や発表時の生徒の真剣な様子に、このような取組も地域貢献につながっていることを実感したそうです。

※おしごとごっこフェス…2023年11月26日に清田区役所で実施された、清田区在住の小学生を対象とした1日限定のお仕事体験プログラム



実験は大人気。真剣に話に聴き入る子どもたち

「統合医療機能性食品国際学会（ICNIM）※」は、多様な社会に対応する統合医療と機能性食品に関する国際学会です。同学会の年次研究報告会と合わせて開催される「ICNIM公開シンポジウム」において、同社は後援企業として毎年協賛し、運営に携わっています。同シンポジウムは、国際的かつ先進的な研究者の知見を地域の方にも共有したいという想いで、2018年から学会の一部を一般公開したものです。2023年は認知症をテーマとして開催し、来場は約60名、オンラインでは約250名の一般参加がありました。健康な社会づくりを目指して、こうした産学官連携による医療分野での啓発活動などに加え、人材育成事業や産業振興事業も実施しています。

※統合医療機能性食品国際学会（ICNIM）…2015年発足。1994年に発足した「AHCC研究会」を前身とする国際学会



研究者だけでなく多数の一般参加者も来場



子どもも大人も参加「清田区ネイチャーツアー」

専門ガイドとともに地域の自然と動植物を学ぶ

同社が定期的に行っている会社周辺の環境調査の機会を活かし、地域住民に地元の自然環境を改めて知ってもらうことを目的として、清田区役所と「清田区ネイチャーツアー」を共催しています。2023年度には春、夏、秋、冬の年4回開催しました。初年度の2022年は清田区在住の小学生とその保護者を対象としましたが、予想以上に好評をいただいたため、翌年には清田区民全員を対象を拡大しました。60代のご夫婦やおひとりの参加者など年齢層もさまざま、地域の方の自然や動植物に対する関心の高さが伺えました。

ツアーでは、植物・昆虫・鳥類・哺乳類についてそれぞれの専門ガイドの講義を受けた後、会社の敷地内や周辺の緑地を散策しながら自然観察をします。観察会終了後には会社見学を通して、環境に対する同社の取組を解説することで、同社への理解を深めてもらうとともに、自然と共生することの大切さを伝えていきます。



身近な自然の豊かさに触れ、理解を深める

登録～認定・表彰までの流れ

認定は年度ごとに行います。翌年度も登録・認定・表彰を希望する場合は、更新手続きと活動報告が必要です。

Step 01



登録申込 2年目以降は更新手続

- 登録申込は活動を行う年度の3月末まで受付します。
- ご登録いただいた企業名は札幌市ホームページへ掲載します。
- ご登録いただいた内容は札幌市役所・各区役所・まちづくりセンター内で共有させていただきます。

Step 02



まちづくり活動への参加・協力 各年度毎(4月～3月)

- 札幌市のまちづくり活動へご参加・ご協力ください。
- ご登録いただいた内容に基づき、札幌市役所・各区役所・まちづくりセンターから参加・協力の依頼をする場合があります。

Step 03



活動内容の報告 随時～翌年度4月末まで

- 活動報告書をご提出ください(別途活動状況がわかる書類を提出していただく場合もあります)。
- ご報告いただく活動は、当該年度のものであれば登録申込前の活動も対象となります。

Step 04



認定 認定期間は翌年度3月末まで

- 活動報告書に基づき、「さっぽろまちづくりスマイル企業」としての基準を満たしたと検討委員会にて認められた場合は、随時認定いたします。
- 認定期間は活動を行った年度の翌年度3月末までです。
(例)2023年度(2023年4月～2024年3月)に活動した場合、2024年度末(2025年3月末)までの認定となります。
- 各企業の活動状況は随時札幌市ホームページで紹介します。

Step 05



表彰及び認定ランクの付与

- 検討委員会にて表彰及び認定ランクの付与対象企業を決定します。
- 認定ランク(ゴールド企業またはシルバー企業)は付与した年度を含め3年度末までが有効期間です。
(例)2024年度に付与された場合、2026年度末(2027年3月末)まで有効
- 有効期間が経過した後においても活動状況に応じて再度認定ランクを付与します。

さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度ホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/csr/smile/>

よくある質問

Q

どれくらい活動したら認定される?

従業員数(パート・アルバイト含む)によって認定となる基準が異なります。

従業員数	認定基準	必須条件
100人以上	年間7活動以上	区役所や町内会等の地域の団体と連携した活動については、寄付・協賛以外の活動に2つ以上ご参加ください。
100人未満	年間5活動以上	

※従業員数は、申込みいただいた単位(本社(支社)もしくは事業所)における札幌市内の人数が適用になります。
※認定の基準は上記のとおりですが、検討委員会にて活動内容を総合的に判断し、認定の可否を決定します。

Q

認定を受けるメリットは?



- 01 認定証・認定マークを付与します。(認定バッジもご購入いただけます)
- 02 札幌市ホームページ等で認定企業として活動実績を広報します。
- 03 まちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業には表彰を行います。表彰を受けた企業へは「ゴールド企業」「シルバー企業」として認定ランクを付与します。

Q

がんばれば表彰される?

札幌市のまちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業に対して表彰を行います(希望企業のみ)。表彰については、活動の内容や回数等を基に検討委員会により決定します。

表彰	認定ランク	1年間に実施する活動の目安		実施期間
		従業員数100人以上	従業員数100人未満	
市長表彰	ゴールド企業	年間60活動程度	年間40活動程度	3年以上継続
	シルバー企業	年間30活動程度	年間20活動程度	
市民文化局長表彰	—	年間15活動程度	年間10活動程度	

次のページから2023年度の表彰企業をご紹介します